

令和8年度 夏休み応募作品一覧表

4・5年・6年児童は、科学研究・社会科研究1点以上を必須課題とする。
 その他の応募作品については、自由です。複数応募しても、応募しなくてもかまわない。
 応募票は各自印刷する。家庭での印刷が難しい場合は、8/4(火)、8/26(水)に担任に申し出て受け取る。

	1・2・3年	4・5・6年
科学研究・社会科研究	自由	1点以上必須
その他	提出無しまたは何点でも可	

	題 材	募集要項
1	東広島市児童生徒発明工夫展	題材名をタップして、ホームページをご覧ください。
2	ゆうちょアイデア貯金箱コンクール	
3	JA共済交通安全ポスター JA共済共済書道コンクール	
4	青少年読書感想文全国コンクール	
5	明るい選挙啓発ポスターコンクール	
6	「ごはん・お米とわたし」作文・図画広島県コンクール	2ページ目以降の資料をご覧ください。
7	MOA美術館東広島児童展	
8	科学研究	
9	社会科研究	

※応募票は、児童のGoogleクラスルームに配信してあります。印刷してお使いください。

校内締切：8月26日(水)厳守

第51回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画広島県コンクール

作品募集要領



令和8年

主 催

農 業 協 同 組 合
広島県農業協同組合中央会

後 援

広 島 県 教 育 委 員 会

募 集 要 領

1. 応募資格

農業協同組合（以下「JA」という。）の所在区域内の小学校および中学校に在籍する児童・生徒とします。

なお、特別支援学校の小学部、中学部も上記の小学校、中学校に準ずるものとします。（以下同じ）

2. 応募方法

(1) 参加作品の応募先

学校は、小・中学校の所在地を区域とするJAへ「出品申込書」を添えて提出してください。（個人での応募は不可）

「出品申込書」は巻末にありますので、原本は貴校で保管いただき、コピーを2部（JA用・JA広島中央会用）送付してください。

(2) 応募点数

学校からの出品は、作文・図画ともに各学年ごとにそれぞれ3点以内とします。

(3) 締切日

令和8年9月4日（金）＜JAへの提出期限＞

(4) お問い合わせ先

お近くのJA

3. 課 題（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

（注）作品にはそれぞれ作品の内容を表す独自の題名を付けてください。題名は、「個人作品貼付用 応募票」に書いてください。

4. 応募企画（枚数・大きさ）

〔作文部門〕

1部 小学校1年生～3年生 （400字詰め原稿用紙2枚以内、または
マス目の大きい原稿用紙で800字以内）

2部 小学校4年生～6年生 （400字詰め原稿用紙3枚以内）

3部 中学校1年生～3年生 （400字詰め原稿用紙4枚以内）

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどで作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として「個人作品貼付用 応募票」の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

〔図画部門〕

1部 小学校1年生～3年生 2部 小学校4年生～6年生

3部 中学校1年生～3年生

B3判（もしくは四つ切り）の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

5. 応募規則

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (4) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものは応募できません。
- (5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権・商標権・肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。
- (6) 合作は応募できません。

6. 「応募票」のはりつけ・記入方法

作品には必ず「応募票」をはりつけてください。応募用紙の項目は漏れなく記入してください。(作品番号を除く) はりつけ位置：[作文]は最終ページの裏面中央。[図画]は裏面中央。

なお、応募票はP6～7に用意しておりますので、コピーして使用してください。

※「応募票」はJAグループ広島のホームページからもダウンロードできます。

個人作品貼付用 応募票

作品番号	経路別集コード	作品番号	部門
フリガナ			作文・図画
作品の題名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			学 年
学 校 名		学 校	年 級
学校所在地			
電話番号			
所属JA名			

※ フリガナも必ず記入してください。

7. 広島県審査会ならびに賞

(1) 審査の方法

学校教育関係者およびJA広島中央会が適任と認めた学識経験者を審査員に委嘱して、審査基準により行います。

作文・図画とも各学校の学年ごとに応募いただいたそれぞれ3点以内の作品について審査します。

(2) 審査基準

[作文部門]

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること(子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない)。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ、自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること(抽象的、一般的なことのみに終始するのは好ましくない)。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。

7. 誤字、脱字がなく、その他の表記（かぎっこや句読点など）も正確であること
（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。

8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が2行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

[図画部門]

〈主題のとらえ方について〉

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアのものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

〈基準について〉

（次のようなものは審査の対象外になります。）

1. ごはんおよびお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）。および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙の様に厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの

（例、トラクターの乗車定員オーバー（2人乗り）、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたもの など）

(3) 審査日 令和8年10月上旬

(4) 賞 特選 作文・図画とも各学年ごとに3点以内（作文・図画各計27点以内）とします。

入選 作文・図画とも各学年ごとに10点以内（作文・図画各計90点以内）とします。

特選者および入選者に賞状と記念品を贈ります。

なお、応募者（各学校作文・図画とも各学年3点以内）には参加賞を贈ります。

8. 応募作品の取り扱い

- (1) 作品は原則として学校および本人宛には返却しません。
なお、JAの支店（所）、ファーマーズマーケットなどで展示させていただく場合があります。
- (2) 作品の著作権および二次使用等にかかる一切の権限（著作者人格権を侵害しない程度の加工を含む）は、応募のときから期限なくJA広島中央会およびJA、JA全中に属します。

9. 県内入賞者の発表と作品の紹介

- (1) JA、学校を通じて本人に通知。
- (2) 日本農業新聞等の新聞媒体、JAの広報誌等。
- (3) JAグループ広島のホームページ・SNS、JAのイベント等。
- (4) その他、JAグループ広島の広報活動として（例：牛乳や米袋の広告欄へ掲載等）使用いたします。

※作品の紹介については、応募をもって承諾したものとします。

10. 全国コンクールへの推せん

県審査の結果、「特選」になった作品の中から（作文・図画ともに各部3点以内）推せんします。

全国審査の結果、優秀作品には以下の賞が贈られます。

- | | |
|--|--|
| 【賞】●内閣総理大臣賞
作文・図画部門各1名 …… 計 2名
賞状と副賞（記念盾およびお米券、記念メダル） | ●全国農業協同組合中央会会長賞
各部門各部ごとに1名 …… 計 6名
賞状と副賞（お米券および記念メダル） |
| ●文部科学大臣賞
各部門各部ごとに1名 …… 計 6名
賞状と副賞（お米券および記念メダル） | ●優秀賞
各部門各部ごとに15名 …… 計 90名
賞状と副賞（記念メダル） |
| ●農林水産大臣賞
各部門各部ごとに1名 …… 計 6名
賞状と副賞（お米券および記念メダル） | ●学校奨励賞
内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校 …… 計 14校
賞状 |

11. 全国審査および入賞者発表・表彰について

- (1) 全国審査日 令和8年11月中旬
- (2) 入賞者発表 令和8年12月上旬
- (3) 表彰式 令和9年1月9日(土)
〈「東京・日経ホール」で開催、各大臣賞およびJA全中会長賞入賞者が対象〉

12. 個人情報について

記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、本会の広報媒体（入賞作品集やホームページ等）への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

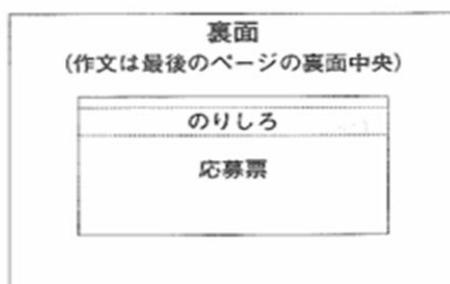
作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード 34	作品番号(記入しない)	部 門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏 名			
フリガナ			学 年
学 校 名	学校	年 組	
学校所在地			
電 話 番 号			
当該 J A 名			

- (注) 1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ裏面中央、図画は作品裏面中央に、
下図「のりしろ」部分のみ貼付(のり付け)してください。
2. 作品番号(都道府県コード、作品番号)は事務局で記入いたしますので、
空欄のままご応募ください。
3. コピーして作品に貼付してください。
4. 応募票の内容は、記入漏れや誤記がないよう留意してください。(外字注意)

[貼付見本]



※本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、主催者の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表や使用することがあります。

2026年6月10日

『MOA美術館児童作品展』作品募集・応募のお願い

MOA美術館東広島児童作品展
実行委員会委員長 難波平人

1. 開催の願い

現代の日本は、グローバル化、少子高齢化などによって多様な社会へと激しく変化しており、学校教育においても、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成することを通じて、これからの社会において「生きる力」をより一層育むことが重要になっています。

MOA美術館児童作品展は、「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催しています。

子どもたちの創作活動を奨励することは、夢や目標に向かって自ら考え、行動する力を高めると同時にそれぞれの国の伝統と文化への関心を高め国際文化交流に資するものと考えています。

本児童作品展は、2万人を超える全国の美術ボランティアによって支えられ、さまざまな個人、団体と協力しながら、医療福祉機関での巡回展示や、年間を通じた美術活動など、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育ていくことを重視するもので、このことによって、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力のあるコミュニティづくりを願っています。

子どもたちの多様な個性・能力によって制作された創造性やチャレンジ精神あふれる作品展へと伸展してきております。

今年も「第28回東広島児童作品展」を昨年同様で開催させていただきます、多くの作品をよろしくお願いいたします。

2. 審査及び入賞について

(1) 審査基準

学習指導要領を参考にしつつ、「一人一人が感性や創造力を働かせて豊かに表現すること」を中心として、下記の基準にて審査を行なう。

- ① 楽しさや美しさなどが感じられる作品
- ② 自由な創意・工夫をこらした作品
- ③ 子どもらしく個性的で、明るく伸び伸びしている作品
- ④ 自然や人を思う心などのよさが表れている作品

(2) 設定する賞

① 広島県教育委員会賞 ・ MOA美術館奨励賞 ・ 実行委員長賞

② 金賞・銀賞・銅賞

(3) 優秀作品について (MOA美術館奨励賞受賞者)

① 「第37回MOA美術館全国児童作品展」にエントリーいただきます。

② エントリー作品は、審査選考の上入賞入選が決定します。

③ 全国展の銅賞以上は1年間MOA美術館にて保管いたします。

④ 全国展において「文部科学大臣賞・外務大臣賞・内閣府特命担当大臣賞・農林水産大臣賞・環境大臣賞・日本PTA全国協議会会長賞・全国子ども会連合会会長賞」を受賞した絵画については、順次展示(館内、賛同出来る企画展)する為、MOA美術館に寄贈をお願いしております。

尚、寄贈していただいた方には、作品の写真パネルを贈呈させていただきます。

3. 主催・後援

◇ 主 催 : MOA美術館〔公益財団法人岡田茂吉美術文化財団〕

「MOA美術館東広島児童作品展」実行委員会

◇ 後 援 : 文部科学省、外務省、農林水産省、環境省、こども家庭庁、
日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本PTA全国協議会

(申請中) 公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人日本国際日本連盟
全国新聞社事業協議会 公益財団法人海外日系人協会
全国連合小学校長会 広島県教育委員会

4. 開催期間及び会場

◇ 開催期間 2026年10月14日(水)～10月18日(日)

◇ 応募〆切 2026年8月31日(月)

◇ 開催場所 東広島市立美術館 (市民ギャラリー 2階)
(東広島市西条栄町9番1号 Tel.082-430-7117)

5. 募集内容

◇ 応募は「絵画(版画を含む)の部」「書写の部」の2部門です。

◇ テーマは、自由です。

◇ いずれも、未発表の個人作品で、一人各1点に限ります。

◇ 対象は小学校1年生～6年生です。

◇ 規格は次の通りです。

(1) 絵画の部(版画を含む)

① 四つ切り又はB3サイズ以内とし、厚紙は不可。

② 作品が小さい場合は、B3サイズの台紙に貼る。

③ 表現材料は水彩絵の具・パステル・クレヨン・カラーペン、色紙等

(2) 書写の部（毛筆）

- ① 文字数は自由です。
- ② 用紙は半紙に限ります。（学年・氏名を必ず記入）

6. 応募方法と連絡先

- ◇ 絵画は、所定の応募用紙を、必ず作品の裏面右上に貼る。（通常、学校使用可）
- ◇ 作品は丸めないで、平版のまま扱って下さい。
- ◇ 下記実行委員会まで連絡をいただければ、担当が取りにまいります。

連絡先

実行委員会事務局 Tel. 082-421-1143

えびすやかずみ

担当： 戎屋一美

7. 個人情報について

MOA美術館東広島児童作品展実行委員会は、ご応募いただいた名前、住所、連絡先、学校名、学年、組の個人情報を、岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）と他の実行委員会と共同利用し、児童作品展に関する連絡、通知、発表、表彰、案内及びPR活動に使用させていただきます。また、作品画像や名前、学校名、学年は、児童作品展に関わるWebやSNSに掲載されることがあります。個人データの管理責任者は、下記の通りです。

静岡県熱海市桃山町 26-2

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館） 代表理事 中島 宏平

（下記簡易内容を掲載）

個人情報の取扱いについては、MOA美術館児童作品展 Web ページの「※地方展における個人情報の取り扱いについて」を必ずご確認ください。

https://acegn.moaart.or.jp/file/box/privacypolicy_local.pdf



以上

絵画の部 応募用紙

題名		題名	
学校名		学校名	
学年		学年	
ふりがな		ふりがな	
氏名		氏名	

題名		題名	
学校名		学校名	
学年		学年	
ふりがな		ふりがな	
氏名		氏名	

題名		題名	
学校名		学校名	
学年		学年	
ふりがな		ふりがな	
氏名		氏名	

題名		題名	
学校名		学校名	
学年		学年	
ふりがな		ふりがな	
氏名		氏名	

題名		題名	
学校名		学校名	
学年		学年	
ふりがな		ふりがな	
氏名		氏名	

第70回広島県科学賞実施要項

1 趣 旨

県内の児童生徒に科学研究を奨励し、自然を探究する体験を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を図る。もって本県理科教育の推進に資する。

2 主 催

広島県、広島県教育委員会、広島県科学賞委員会

3 後 援（予定）

広島県市町教育委員会連合会、広島県小学校教育研究会理科部会、広島県中学校教育研究会理科部会、広島県高等学校教育研究会理科部会、読売新聞広島総局、広島テレビ

4 応募資格

(1) 応募区分・分野

区 分		分 野
小学校の部	広島県内の小学校に在籍する児童 (義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。)	各学年 (第1学年～第6学年)
中学校の部	広島県内の中学校に在籍する生徒 (義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学期を含む。)	物理、化学、生物、地学、 広領域(物理、化学、生物、 地学の複数の分野にわたる研究等)
高等学校の部	広島県内の高等学校に在籍する生徒 (高等専門学校及び高等学校定時制課程の第1～第3年次、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)	

*共同研究は「同校種」でのみ応募可。

校種が異なる(小学校と中学校、中学校と高等学校等)共同研究での応募は不可。

*中学校の部・高等学校の部の「情報・技術、応用数学」分野の研究作品は、日本学生科学賞の中央一括審査へ直接応募すること。

(2) 応募条件(重複応募について)

広島県科学賞は、次のコンテストの地方審査を兼ねているため、次のとおり条件があります。

小学校の部	全国児童才能開発コンテスト 科学部門 【応募条件】 ・他の団体が主催するコンテストに応募していないものに限りです。
中学校の部 高等学校の部	日本学生科学賞 【応募条件】 ・中学校の部では「自然科学観察コンクール」に同じ研究作品を重複して応募することはできません。 ・「高校生・高専生科学技術チャレンジ」(JSEC)は、日本学生科学賞とともに「国際学生科学技術フェア」(ISEF)と提携しているため、同じ研究作品を重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品を日本学生科学賞とJSECに応募した場合、同じ研究者が含まれている場合は、二重応募とみなします。

5 応募内容

個人又は共同で児童生徒が行った実験・調査等、自然科学に関する研究記録・研究レポート（以下「研究作品」とする）。学校の課題研究の内容も可。ただし、単なる工作物、模型、採集物、標本等は不可。

6 応募上の留意事項

【全校種共通】

- (1) 研究作品については、本県理科教育の推進のため、研究作品が各種媒体で使用されることを予め了承の上、応募すること。
取得した個人情報（氏名、学校名等）は、審査結果の公表や優秀な作品の紹介等（広島県立教育センターウェブサイトや広島県教育委員会 SNS 等での掲載も含む）で利用するため、個人情報の公開を希望しない場合は、出品票の「情報公開」の欄に×印を記入すること。×印の記入がない場合は同意を得たものとする。
- (2) 研究に当たって、第三者の研究・著作物（文献、論文、新聞・雑誌の記事、テレビ等の映像番組、インターネット上のウェブサイト、講演会、インタビュー等）を研究の参考としている場合は参考文献として、レポート・論文に引用している場合は引用文献として明記すること。
なお、このことに不備がある場合、審査対象外としたり、審査終了後でも賞を取り消したりすることがある。
- (3) 生成 AI（人工知能）を使用した場合には、使用した箇所や方法、プロンプト（指示文）を研究作品に明記すること。審査の過程でその箇所や方法について質問する場合がある。
- (4) 写真や図表等、資料を研究作品に直接貼り付ける場合は、しっかりと糊付けをする、テープで二重に貼る等工夫をし、出品や審査の段階で剥がれ落ちないようにすること。
- (5) 共同研究については、一つの作品としてまとめて提出すること。また、複数の学校にまたがる共同研究については、そのうちの 1 校から提出すること。

【小学校の部】

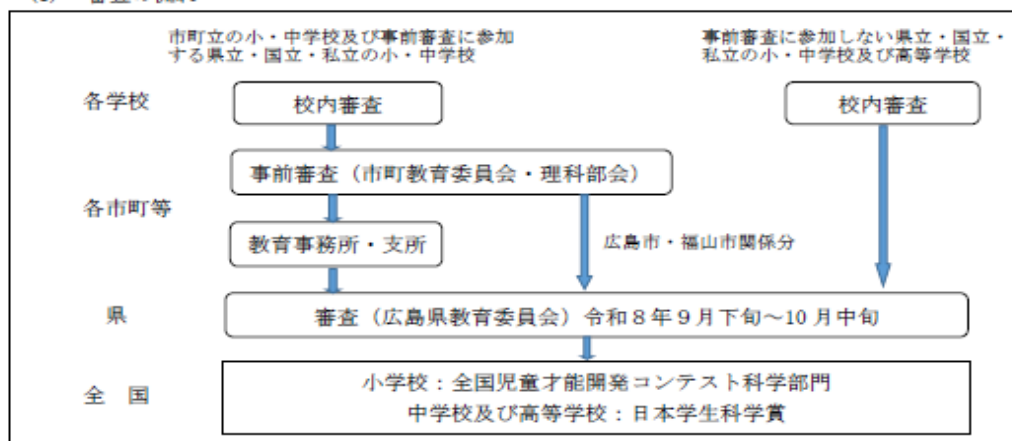
- (6) 研究作品の作成に用いる用紙の大きさは、A 4 判（210 mm × 297 mm）が望ましいが、A 3 判（297 mm × 420 mm）を超えないものであれば可とする。標本類や大きな展示パネル・模造紙等の展示物の場合は、写真に撮り、CD か DVD に保存したものと、見本としてプリントしたものを提出すること。
- (7) 前年度からの継続研究の場合でも、前年度出品した作品と一緒に提出することはしないこと。
- (8) 異なる学年での共同作品は、最上学年の作品として提出すること。
- (9) 参考となるウェブサイト
・全国児童才能開発コンテスト 科学部門
URL : <https://www.sainou.or.jp/contest/entry/science.html>

【中学校・高等学校の部】

- (10) 研究作品の作成に用いる用紙の大きさは、A 4 判（210 mm × 297 mm）に限る。
 - (11) 上級生等からの継続研究の場合、上級生等が研究した部分と、応募生徒が新たに研究した部分を明確に分けて記入すること。
 - (12) 参考となるウェブサイト
・日本学生科学賞
URL : <https://event.vomiuri.co.jp/issa/>
・一般財団法人 公正研究推進協会
「中等教育向け教材」「中等教育における研究倫理：基礎編」
URL : <https://www.aprin.or.jp/e-learning/rse>
-

7 審査

(1) 審査の流れ



(2) 審査の観点

自主性、創造性、信頼性、論理性、自然環境及び安全に対する配慮

8 提出物・提出先

(1) 各学校

所 属	提出物	提出先・提出方法
○市町立の小・中学校 ○事前審査に参加する 県立・国立・私立の 小・中学校	・（様式1）「出品目録」 ・「出品票」を貼付した作品	提出期間及び提出方法等については、市町教育委員会、理科部会等事前審査機関から別途通知。
○事前審査に参加しない 県立・国立・私立 の小・中学校 ○高等学校	・（様式1）「出品目録」 ・「出品票」を貼付した作品 （小学校の部）各学年2作品以内 （中学校の部）各分野3作品以内 （高等学校の部）各校で選考し、学校長の承認を得たもの	広島県立教育センター ① 様式1を組織アドレスから電子メールで送付する。 ② 「出品票」を貼付した作品を持参又は郵送する。

(2) 各市町等

所 属	提出物	提出先・提出方法
○教育事務所・支所 ○広島市教育委員会 ○福山市教育委員会	・（様式2）「出品目録」 ・（様式3）「入選推薦作品目録」 ・（様式4）「努力賞推薦作品目録」 ・（様式5・6）「出品総数（一覧）」 ・（様式7）「目録集計表」 ・「出品票」を貼付した作品	広島県立教育センター ① 様式2～7を組織アドレスから電子メールで送付する。 ② 「出品票」を貼付した作品を持参又は郵送する。

- *「出品目録」「出品票」の記入に当たっては、(様式1)の「記入例及び記入上の注意」を参照すること。
- *「出品目録」「出品票」は、広島県立教育センターウェブサイト「広島県科学賞」からもダウンロードすることができる。
- *研究作品のそれぞれに「出品票」を作成し貼付すること。
- *作品名や氏名は結果通知や賞状等の記載名となるため、正確に記入すること。
- *郵送の場合は、封筒に「広島県科学賞応募作品在中」と明記し、簡易書留や一般書留等、追跡サービスのある手段で送付すること。送料は学校負担とする。

提出先：広島県立教育センター教科教育部

〒739-0144 東広島市八本松南1丁目2-1 電話 082-428-1149

電子メール kyckyouka@pref.hiroshima.lg.jp

提出期間：令和8年9月16日(水)～9月25日(金) 8:30～12:00、13:00～17:15

土曜日、日曜日、祝日は除く

※ 郵送の場合は9月24日(木)消印有効とする。

9 表彰及び結果の公表

(1) 賞の種類

- ア 学校賞 小学校、中学校及び高等学校の各部ごとに1校
- イ 研究作品賞(特選、科学賞委員会特別賞、準特選、入選、努力賞)
 - 特選：小学校各学年1作品、中学校及び高等学校で各3作品
 - 科学賞委員会特別賞：小学校1作品、中学校又は高等学校で1作品
 - 準特選：小学校各学年2～3作品、中学校及び高等学校で各2～3作品
- ウ 優秀指導者賞 ※ 該当者がいる場合のみ

(2) 表彰式について

「学校賞」「特選」「科学賞委員会特別賞」「優秀指導者賞」の受賞者に賞状等を贈呈する。

日時：令和8年11月20日(金) 午後
場所：県庁 本館 6階 講堂

(3) 結果の公表について

審査結果は、11月13日(金)までに各学校を通して連絡する。また「特選」「科学賞委員会特別賞」「準特選」を受賞した作品は、作品名および提出者の氏名、学年、学校名を、読売新聞、広島県立教育センターウェブサイトや広島県教育委員会 SNS 等で11月中旬頃に発表する。

(4) 全国への出品について

小学校の部：特選作品のうち3作品を選定し、全国児童才能開発コンテスト科学部門へ出品
中学校及び高等学校の部：特選作品全てを日本学生科学賞へ出品

10 作品の返却

各学校を通して返却する。教育事務所・支所、広島市教育委員会、福山市教育委員会及び事前審査に参加しない県立・国立・私立の小・中学校、高等学校は、次の期間内に広島県立教育センターで作品を受領すること。

郵送での返却を希望する場合は、作品を提出する際に、宛先に学校の住所・科学賞担当者名を記入したゆうパックの着払い伝票を持参するか同封すること。送料は学校負担とする。

返却期間：令和8年11月24日(火)～12月2日(水) 8:30～12:00、13:00～17:15
土曜日、日曜日は除く

【小学校の部】

(6) 研究作品の作成に用いる用紙の大きさは、A4判(210 mm × 297 mm)が望ましいが、A3判(297 mm × 420 mm)を超えないものであれば可とする。標本類や大きな展示パネル・模造紙等の展示物の場合は、写真に撮り、CDかDVDに保存したものと、見本としてプリントしたものを提出すること。

(7) 前年度からの継続研究の場合でも、前年度出品した作品と一緒に提出することはしないこと。

(8) 異なる学年での共同作品は、最上学年の作品として提出すること。

(9) 参考となるウェブサイト

・全国児童才能開発コンテスト 科学部門

URL: [科学部門応募要項](#) | [全国児童才能開発コンテスト](#)

夏休み社会科自由研究

さあ、夏休み！長いお休みを利用して、社会科の自由研究に挑戦してみませんか？

社会科に関係のあることなら、どんなことでもOK！個人・グループどちらでもいいです。まとめかたも、工夫してみましょう。みんなのユニークな研究作品を待っています。

小学校の社会科で学習することは、おもに次のようなことです。学習した後にもっと調べてみたいことや、学習する前に調べてみたいことを見つけ、研究にまとめてみましょう。

3年生・4年生の学習

3年生

○わたしたちの住んでいる町について

- ・様子、しせつ、産業 など

○東広島市について

- ・土地の使われ方、特産物、交通、しせつ、とくちょうてきな場所 など

○東広島市ではたらく人々について

- ・お店、田畑、工場ではたらくひとびとの工夫やど力

○安全な暮らしについて

- ・火事から人々を守る（消防）
・交通事故から人々を守る（警察）

○くらしのうつりかわりについて

- ・昔の道具と人々のくらし、昔から伝わる行事

4年生

○健康な暮らしについて

- ・ごみの処理と活用
・浄水場、下水処理場

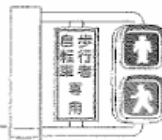
○東広島市のはってんにつくした人々

- ・沖田嘉市、三浦仙三郎、野坂完山 など

○広島県について

- ・位置、地形、土地利用、交通、産業 など
・特色のある地域（北広島、宮島、熊野、西条など）

○世界とつながる広島県



たとえばこんな研究ができるよ

○東広島市の各町の様子について、見学したり、調べたりして、テーマごとにまとめる。

○いろいろな店を見学したり、聞き取りをしたりして、店の種類とその特徴や工夫についてまとめる。

○農家の方に取材し、作られている農産物について、作るにあたっての苦労や工夫、思いなどを聞き取り、まとめる。

○郷土資料館等を活用して、昔のくらしについて調べたり体験したりしたことをもとに、今のくらしとくらべてみる。

○消防署に見学に行き、消防の仕事についてまとめる。

○広島県の特色のある地域である熊野（伝統を守っている地域）について調べたり、取材に行ったりして、分かったことをまとめる。



5年生の学習

- 日本の国土と人々の暮らし
 - ・日本の国土の特徴
 - ・日本の特色のある土地の暮らし
(寒い・暖かい土地)(低い・高い土地) など
- 食生活と日本の食料生産
 - ・農業、水産業などのさかんな地域
 - ・日本の食料生産の特色
- 日本の工業の発達
 - ・自動車工業のさかんな地域、日本の工業の特色
- 暮らしを支える情報
 - ・情報を伝える産業、情報社会と暮らし
- 国土の環境を守る
 - ・国土の開発と自然、国土の自然を守る活動
 - ・災害防止と国民生活のかかわり

たとえばこんな研究ができるよ

- 旅行に行った場所と広島県の様子を気温や降水量などいくつかの視点からくらべ、人々の暮らしの違いをまとめる。
- 農業や水産業などを行っている場所に取材に行き、働いている人々から聞き取ったり、調べたりしたことをまとめる。
- 情報の伝え方の違いについて統計をとるなどして調べ、特ちょうをまとめる。

6年生の学習

- わたしたちの暮らしと政治
 - ・国民の願いと政治とのかかわり
 - ・日本国憲法とわたしたちの暮らし
- 日本の歴史
 - ・縄文～現代までの時代の特徴、人物、文化財など
- 世界の中の日本
 - ・日本とつながりの深い国々
 - ・国際連合と日本人の役割

- 市議会や裁判所などを見学したり、自分の生活との関わりについて調べたりしたことをまとめる。
- 文化財(古墳、城、寺院)などを見学し、その時代の特ちょうとのかかわりについて調べたことをまとめる。
- 戦時中の暮らしについて、資料館などを見学したり、資料をもとに調べたりしたものをまとめる。

<まとめ方の手引き>

(1) きっかけや動機

- 「なぜ、そのテーマで調べたくなったのか？」を書いてみよう。

(2) 調べよう

- 実際に見学したり、インタビューをしたりしてみよう。
- 図書館の本を読んだり、インターネットを活用したりして調べてみよう。
- より分かりやすくするために、イラストや写真、地図、資料などを使ってみよう。

(3) まとめよう

- 気づいたこと、思ったこと、疑問などを文や表などで、まとめよう。
- 最後に考察(分かったこと・思ったこと)を必ず書こう。

※表紙・裏表紙・目次・調べ学習で活用した資料一覧などがあると研究らしくなります。

主催：東広島市立学校教育研究会 小学校部会社会科委員会

社会科自由研究
研究テーマ



小学校

年 組 名前

社会科自由研究
研究テーマ



小学校

年 組 名前

社会科自由研究
研究テーマ



小学校

年 組 名前

社会科自由研究
研究テーマ



小学校

年 組 名前

